

# 市政に対する

## 一般質問

今定例会では、11人の議員が6月2日、3日、4日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

### 四本奈緒美議員

- こども食堂の活動に対する幸手市の取り組みについて
- 生理の貧困を抱える女性への支援について

### 坂本達夫議員

- 新型コロナウイルス感染症について
- 駅自由通路を避難場所に指定することについて
- 幸手駅西口の開発について
- 県道惣新田幸手線バイパスについて

### 小林啓子議員

- 幸手市職員への不妊治療に対する取り組みについて
- 行政手続きにおける押印廃止と書面主義の見直しについて

### 本田謡子議員

- コロナ禍における公共施設管理等の方向性について
- 新型コロナウイルス感染者に係る市のホームページ等の発表について

### 松田雅代議員

- 幸手市GIGAスクール構想の推進について
- 人口問題、移住・定住政策の推進について
- 附属機関等の市ホームページにおける議事録掲載の進捗について
- 企業版ふるさと納税PRの進捗について

### 大平泰二議員

- 新型コロナウイルス感染状況について
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制の拡大について
- 生活保護費支給について

### 小林英雄議員

- 幸手市公共施設について
- UR都市再生機構の土地活用について
- 「アスカル幸手」臨時駐車場の設置について

### 海老沼隆夫議員

- 新型コロナウイルス感染者拡大に伴う市の対応について
- 75歳以上の医療費2割負担について
- 核兵器禁止条約の成立について
- 危険な県道について
- 栄地区・幸手団地のエレベーターの設置他について
- 避難行動などによる要支援者名簿の件

### 青木章議員

- 幸手市新生児特別定額給付金事業について
- 「職員懲戒処分に対する公平委員会の裁決」の対応等について

### 枝久保喜八郎議員

- 土地利用に関する対応について
- 道路事情が地域コミュニケーションに及ぼす環境変化について
- 防災対策について
- 教育現場の現状について

### 武藤壽男議員

- 行政組織と職責と人事について
- 新型コロナウイルスワクチン接種について

## 6月定例会の議会運営について

幸手市議会においては、新型コロナウイルス感染症への対応を図るため、次の取組みを実施致しました。

- ① 「一般質問」の議員1人あたりの質問時間をこれまでの「45分以内」から「30分以内」に短縮。
- ② 本議会、委員会等における理事者の出席を最小限にし、出席者の座席の間隔を保持。
- ③ 本議会、委員会等では、マスクを着用。
- ④ 本議会場、委員会室では、概ね30分を目安に休憩を入れて、窓・扉を開放して換気を実施。
- ⑤ 議場、委員会室にアクリル板の設置及び空気清浄機を配置。
- ⑥ 傍聴席の座席の間隔を保持。(9席)
- ⑦ 消毒液の設置。

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 6月定例会の会議録は9月上旬頃公開予定です。



坂本達夫議員

惣新田幸手線バイパス早期整備について

Q

県道惣新田幸手バイパスは、産業団地区間が整備済だが、その先国道4号バイパスまでが未整備である。

次の理由から早期整備が求められる。①この道路は、幸手の観光、経済、物流の活性化に繋がる。②現在の県道は、大型車両が増加し、騒音、振動の問題だけでなく、交通事故の危険性

A

市としても県道惣新田幸手線バイパスを整備することで、交通の利便性が向上し、現道の渋滞が緩和され、観光や経済の活性化に寄与すると考えている。



そこで、現在、市では、道路整備を促進する協議会設立の準備をしており、今後は埼玉県に対して、当該路線の未整備区間の早期整備を積極的に要望していきたいと考えている。  
(建設経済部長)



四本奈緒美議員

「生理の貧困」を抱える女性に支援を

Q

経済的理由から生理用品を買えない女性がいる問題は「生理の貧困」と呼ばれ、長引くコロナ禍で顕在化し、社会的課題となっている。

このような女性（児童・生徒・学生を含む）への負担軽減の支援が必要と考える。防災備品等の活用を含め、幸手市の見解と支援策について伺う。

A

経済的な理由で生理用品を購入できない「生理の貧困」については、女性や女性の健康という観点、あるいは、女性の女性としての尊厳に関わる重要な問題であると認識している。

については、先進事例の創意工夫などの情報収集を行い、近隣の市町の取組みを参考にして、防災備蓄品の活用や配布窓口の設置及び配布方法など、関係部署と調整を行い、生理用品の無償配布について実施する方向で検討している。  
(総務部長)



## 幸手市職員への不妊治療に対する取組みは



小林啓子議員

**Q** 政府は不妊治療への保険適用を2022年度

当初から実施する方針を決めた。今後国として策定されるガイドラインを制度設計の具体化に生かす方向である。これを踏まえて、幸手市としても条例等の環境整備が必要になると考えるが見解を伺う。

また、事業所としての幸手市

役所がモデルケースを作成し、市内企業に対して率先して情報発信していくべきと思うが、幸手市としての考えを伺う。

**A** 幸手市役所では、職員

への不妊治療に対する支援策として、現在、不妊治療を受ける時に取得することができ「休暇制度」の導入について、検討している。

また、市役所が職員の仕事と不妊治療の両立支援などを率先

して推進し、モデルケースとして情報発信することは、市内企業への促進につながるものと考えているので、前向きに検討し、進めていきたい。

(総務部長)

## 公共施設利用報告書の一本化の検討を



本田謡子議員

**Q** コロナ禍の今、市の施設を利用する場合、その

時のコロナの状況によって「公共施設利用報告書」の形態が変わってくる。これは県の対応に準じているためである。

また、市の公共施設利用報告書は担当課によって違っている。このようなことから、緊急に利用基準が変わったとしても、こ

の報告書を一本化すれば、确实に対応ができ、また、市の施設がどこでも同じ報告書であれば、真の市民サービスに繋がると思うが、市の見解を伺う。

**A** 社会教育施設の施設

利用者報告書の表記については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じ、利用者の負担軽減、他の教育施設との表記の統一などを考慮し、その都度変更をして、現在は共通の表

記内容となっている。市のすべての公共施設の施設利用者報告書を共通の様式に統一することができるとかどうかについては、それぞれの施設によって利用目的や用途、形態等が異なるため、1つの報告書で対応できるかどうか、今後、内部で検討していく。

(教育部長)

人口問題、移住・定住政策の深化・強化を



松田雅代議員

**Q** 本年度から第2期幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略がスタートした。今年度新たに組み込む移住・定住政策を伺う。

また、同総合戦略策定に際し、意見として「二地域居住」という新しい指標設定を提案し、「調査研究の対象とする」との回答を得ている。その後の調査研究

の進捗を伺う。

市民生活の激変緩和と時代に合った構造的なまちづくりが自治体経営に求められる中、総合戦略のベースとなる人口動態の分析を強化すべきではないか。

**A** 移住・定住政策は、総合戦略の基本目標に掲げた取組内容以外には、現在のところない。

二地域居住については、本年3月に設立された「全国二地域

居住等促進協議会」の動向等を踏まえながら、引き続き調査研究を進めていく。

また、市民意識調査等の分析を経て今年度スタートした第2期総合戦略は全庁横断的な体制をもってその遂行にあたっていく。今後も人口動態の推移等を高いレベルで共有し得るよう庁内意識の醸成に努めていく。  
(総合政策部長)

新型コロナウイルス感染者について



大平泰二議員

**Q** 幸手市の1例目から現在までの感染者自宅療養、宿泊療養、入院等の対応について伺う。また、現在の完治者、療養継続者数、死亡者数、HP上のその他の意味についても伺う。

幸手市の1例目から現在までの感染者自宅療養、宿泊療養、入院等の対応について伺う。また、現在の完治者、療養継続者数、死亡者数、HP上のその他の意味についても伺う。

**A** 幸手保健所から情報提供されている自宅療養、宿泊療養、入院等の数は、令和3年1月1日以降に月2回、時点集計したものであるため、1例目からの数は集計できない。

令和3年5月15日現在、陽性者180名の内訳は、療養継続者にあたる患者数が10名、完治者・死亡者を含む退院・療養終了が166名、その他が4名である。その他の意味は幸手保健所

所経過を把握できない数で、

具体的には幸手保健所以外で健康観察する者の数を指す。  
(健康福祉部長)





枝久保喜八郎議員

ペットに関する防疫と防災の関連性について

Q

市内ドッグラン事業者とのペット避難協定を結ぶにあたり、幸手市では、60%台にとどまる狂犬病等の防疫率を高める必要がありますが、それらを条件に、市登録の犬について、ドッグランの平日利用を無料にするとの提案は、ペットの災害時避難及び防疫率向上の両面から意義あるものと考えます

A

ペットの避難について、様々な検討を行っています。現在、市内でドッグラン事業を行っている事業者と運営に関わっている商工会及び幸手市の三者による協定も検討しており、速やかに協定の締結について、進めたいと考えています。また、狂犬病等の防疫率を高めることは、避難の安全性を確保



(市民生活部長)

保するためには必要なことですが、これについては、協定締結を検討する中で、関係者と協議したいと思います。



青木 章議員

木村市長の裁量権を逸脱濫用した処分の対応

Q

平和記念式典に参列するために訪れた広島市での事件に関連して、戒告処分を受けた元市職員について、市公平委員会が処分を取り消すよう裁決しました。同委は、「服務規定に違反していたとまではいえない」と判断。市による懲戒処分は「合理的な理由がないにもかかわらず、平等原則に従っ

A

今回の処分について、裁量権を逸脱濫用した処分との認識はございませんので、自身の処遇についても考えてはございません。

(市長)

元職員に対しましては、公平委員会の裁決を尊重し、また、是正措置指示書に従い、未支給の勤勉手当の支払いを行いました。今回の件を真摯に受け止め、今後、このようなことが無いよう、市長として強い覚悟で綱紀粛正に努めてまいります。

UR都市機構と進める多様性のある街づくりは



小林英雄議員

**Q**

UR都市機構は、賃貸住宅ストックの活用方法として、地方公共団体や民間事業者と連携し、団地の役割・機能の多様化を図る街づくりを進めるとしている。開発が行われる予定の幸手団地6街区は、駅から近く、路線バスも通っており、周辺には総合病院や保育所もある。これらの好条件を生か

**A**

し、団地住民にとっても、周辺住民にとっても、よりよい街づくりを行う為、子育て・教育・医療・福祉支援施設等多方面から様々な検討を行い、開発を協議すべきと考えます。市の考えを伺う。

UR都市機構とは、平成30年度から協議を重ねてきている。協議内容については、事業に関する総合的なものから各所管課での協議を要する

専門的なものまで、その範囲は多岐にわたる。

同機構からは、幸手団地6街区の開発について、良好なまちづくりの実現を目指し、地域需要や市場動向を勘案するなどして今後決定する予定である旨の報告を受けている。

今後においても引き続き情報共有に努め、あらゆる角度から検討・協議してまいりたい。

(総合政策部長)

県道惣新田幸手線の危険なS字カーブ箇所について



海老沼隆夫議員

**Q**

県道惣新田幸手線の八代郵便局前を通過後のS字カーブ、道路の両側が木立に囲まれ、道路両端の歩道も狭く、人や車両の行き来が困難で極めて危険である。市民の危険を排除し、命を守るためにも、直ちに県に改善を求めるよう前回は発言している。八代郵便局先の右カーブを過ぎた次の左カーブ

**A**

の入り口、道路左側のオレンジのポールは狭い歩道の中に有り、通行の妨げになって、極めて危険である。直ちに県に改善を依頼するように求める。

このポールは歩行者保護の目的で路肩部分に設置されているものと思われる。

しかし、このうち2本が路肩の中央付近に設置され、歩行スペースが少なくなっているため、埼玉県杉戸県土整備事務所に改

善の要望を行いたい。

(建設経済部長)



# 新型コロナウイルスワクチン接種は



武藤 壽男議員

**Q**

新型コロナウイルス感染症から、市民の命を守る最大の方策は、ワクチン接種をいかに素早く多くの方に接種し、集団免疫を作るかが、市の最大の責務である。

5月に始まった高齢者に対する接種は、国では7月末までに完了と言われているが、本市の接種状況について伺う。

**A**

また、その後の施設従事者、基礎疾患をお持ちの方、更には、16歳以上65歳未満の皆さんにもできうる限り、早急な接種が望まれているが、今後のワクチン接種計画について伺う。

65歳以上の高齢者の接種については、5月6日

より接種をはじめ、6月3日現在で4千294回の接種をしている状況である。今後、7月末までに2回目が接種できるよう

進めている。

65歳未満の方については、使用するワクチンの種類など、国からの情報がないため、詳細なスケジューリングは確定していないが、情報収集に努め、医師会等との調整を行い、実施体制を整える。  
(健康福祉部長)

## 6月定例会 会期日程

- 6月1日(本会議)
  - ・開会・会期の決定・報告事項
  - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 6月2日・3日・4日(本会議)
  - ・市政に対する一般質問
- 6月10日(本会議)
  - ・議案に対する質疑・議案の委員会付託
- 6月11日(委員会)
  - ・総務常任委員会
- 6月14日(委員会)
  - ・文教厚生常任委員会
- 6月15日(委員会)
  - ・建設経済常任委員会
- 6月22日(本会議)
  - ・委員長報告、質疑、討論、採決・閉会

### 議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

## 6月定例会

### 傍聴者

23人の方が傍聴されました。

### 議会インターネット中継のアクセス件数

インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。

4月	160件	5月	87件	6月	1901件
----	------	----	-----	----	-------

の方が視聴されました。

幸手市議会からの

## お知らせ

### ◆9月定例会の開催予定◆

令和3年9月定例会は、9月1日(水)から29日(木)までの29日間にわたって開催する予定です。

- 《9月定例会の主な内容》
- 9月1日
    - ・開会・会期の決定・報告事項・市長提出議案一括上程、提案理由説明
  - 9月2日・3日・6日
    - ・市政に対する一般質問
  - 9月10日
    - ・議案に対する質疑・議案の委員会付託
  - 9月13日・14日
    - ・文教厚生常任委員会
  - 9月15日・16日
    - ・総務常任委員会
  - 9月17日・21日
    - ・建設経済常任委員会
  - 9月29日
    - ・委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

※各会議は午前10時開始予定です。また、会議の予定は変更となる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

### ◆議会中継のご案内◆

市議会の本会議については、インターネットによる中継を行っており、本会議の開会中にご覧いただける「ライブ中継(生中継)」と、いつでも視聴ができる「録画中継」の配信をしています。中継は、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。